

株式会社カーチスホールディングス (東証2部 7602)
平成25年3月期 第1四半期決算短信説明資料
平成24年8月10日

人と人を車でつなぐ架け橋 カーチス



ご注意:当資料に記載されている内容は、資料作成時点の当社の判断に基づくものであり、記載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証するものではありません。

目 次

【1】 平成25年3月期 第1四半期累計期間決算の状況

- ①自動車流通業市場の背景
- ②業績ハイライト
- ③貸借対照表
- ④損益計算書
- ⑤キャッシュ・フロー計算書
- ⑥業績トピックス(売上高およびユーザー買取台数の推移)
- ⑦1Q実績および2Qについて

【2】 営業施策進捗

- ①海外進出の検討・在庫共有システムにおける業務提携
- ②新規出店計画
- ③カーチス6周年大感謝祭開催

【1】平成25年3月期 第1四半期累計期間決算の状況

①自動車流通業市場の背景

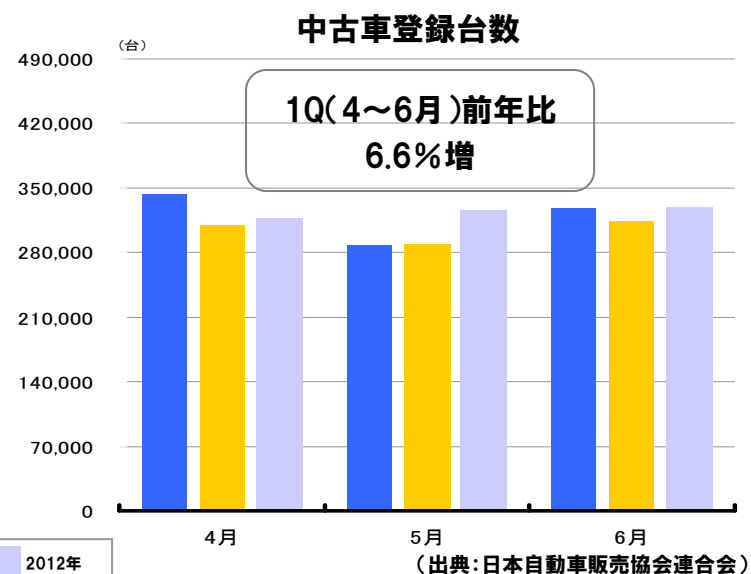
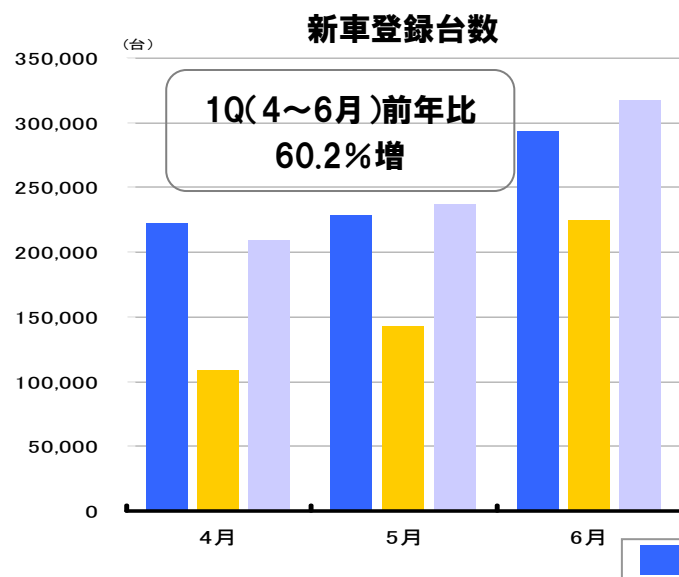
■ 2012年上半期の自動車市場

新車登録台数 = 185.6万台(前年同期比55.4%増)

中古車登録台数 = 209.6万台(前年同期比7.2%増)

新車 ⇒ エコカー補助金制度の効果により、好調に推移

中古車 ⇒ 新車販売好調により中古車の供給過多(登録台数増加)。オートオークションにおける流通台数は増加したものの、相場が著しく低調に推移し、苦戦

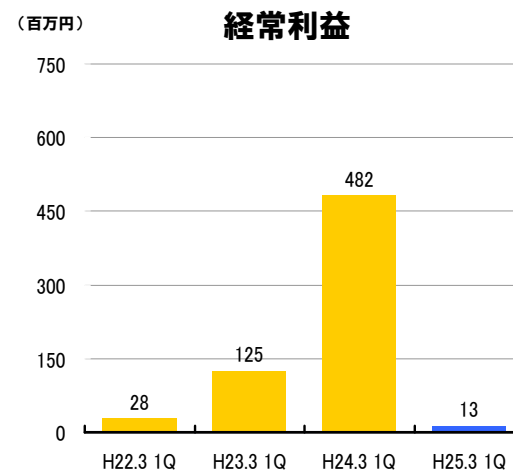
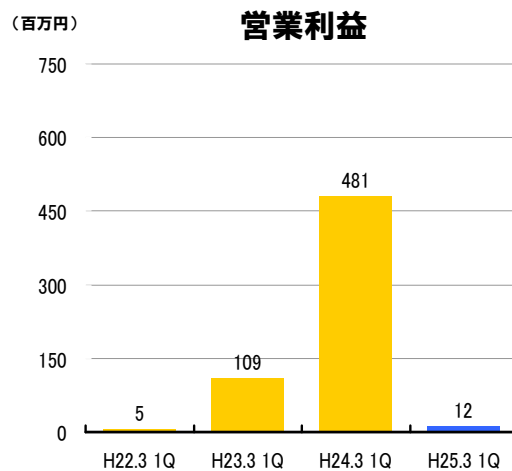
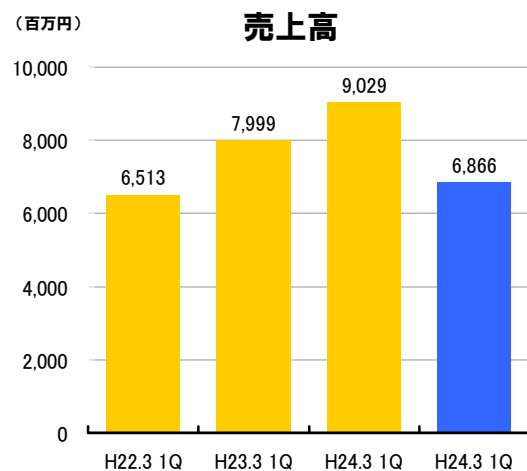


【1】平成25年3月期 第1四半期累計期間決算の状況

②業績ハイライト

エコカー補助金制度の影響等厳しい状況の中、黒字を確保

【1 Q】売上高 6,866百万円（前年同期比△24.0%）
営業利益 12百万円（前年同期比△97.4%）
経常利益 13百万円（前年同期比△97.1%）



【1】平成25年3月期 第1四半期累計期間決算の状況

③貸借対照表

(単位:百万円)

	平成25年3月期 1Q	平成24年3月期末	前期末比
流動資産	5,739	6,090	94.2%
固定資産	953	969	98.3%
総資産	6,692	7,059	94.8%
流動負債	1,753	2,124	82.6%
固定負債	169	170	99.6%
純資産	4,769	4,765	100.1%
負債・純資産合計	6,692	7,059	94.8%

《補足説明(前期末比)》

- ✓ 流動資産 : 前期末比350百万円減少 現預金・売掛金172百万円増加、商品516百万円減少
- ✓ 流動負債 : 前期末比370百万円減少 買掛金123百万円、未払法人税等80百万円、未払金73百万円減少
 - ▶ 流動比率 327.2% (前期末 286.7%)
- ✓ 純資産 : 当期純利益4百万円の計上により増加
 - ▶ 自己資本比率 71.3% (前期末 67.5%)

【1】平成25年3月期 第1四半期累計期間決算の状況

④損益計算書

前期⇒震災の影響により中古車需要急増
 今期⇒エコカー補助金の影響により中古車供給過多

(単位:百万円)

	平成25年3月期 1Q	平成24年3月期 1Q	前年同期 増減率
売上高	6,866	9,029	△24.0%
売上原価	5,451	7,111	△23.3%
売上総利益	1,414	1,918	△26.2%
販管費	1,402	1,436	△2.4%
営業利益	12	481	△97.4%
経常利益	13	482	△97.1%
四半期純利益	4	※ 2,304	△99.8%

《補足説明》

- ✓ 売上高 : 前期の下半期より続く不安定なオートオークション相場等の影響により業績鈍化、前年同期比△24.0%
- ✓ 売上総利益 : 前下半期18.8%であった売上総利益率は、粗利重視の施策が奏功し、20.6%(前期同期比△0.6%増)で着地
- ✓ 販売管理費 : 広告宣伝費や地代家賃が増加したものの、給与手当、支払手数料等の減少等により、前年比△2.4%
- ✓ 営業利益 : 売上総利益率は、前年同期と同水準であるものの、売上高の減少により、12百万円に留まる
- ✓ 四半期純利益 : 四半期純利益4百万円を計上(※前年同期は、訴訟損失引当金戻入益1,799百万円を計上)

【1】平成25年3月期 第1四半期累計期間決算の状況

⑤キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	平成25年3月期 1Q	平成24年3月期 1Q
営業活動によるキャッシュ・フロー	295	※ 1,458
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4	41
財務活動によるキャッシュ・フロー	—	—
現金及び現金同等物の期末残高	3,820	2,706

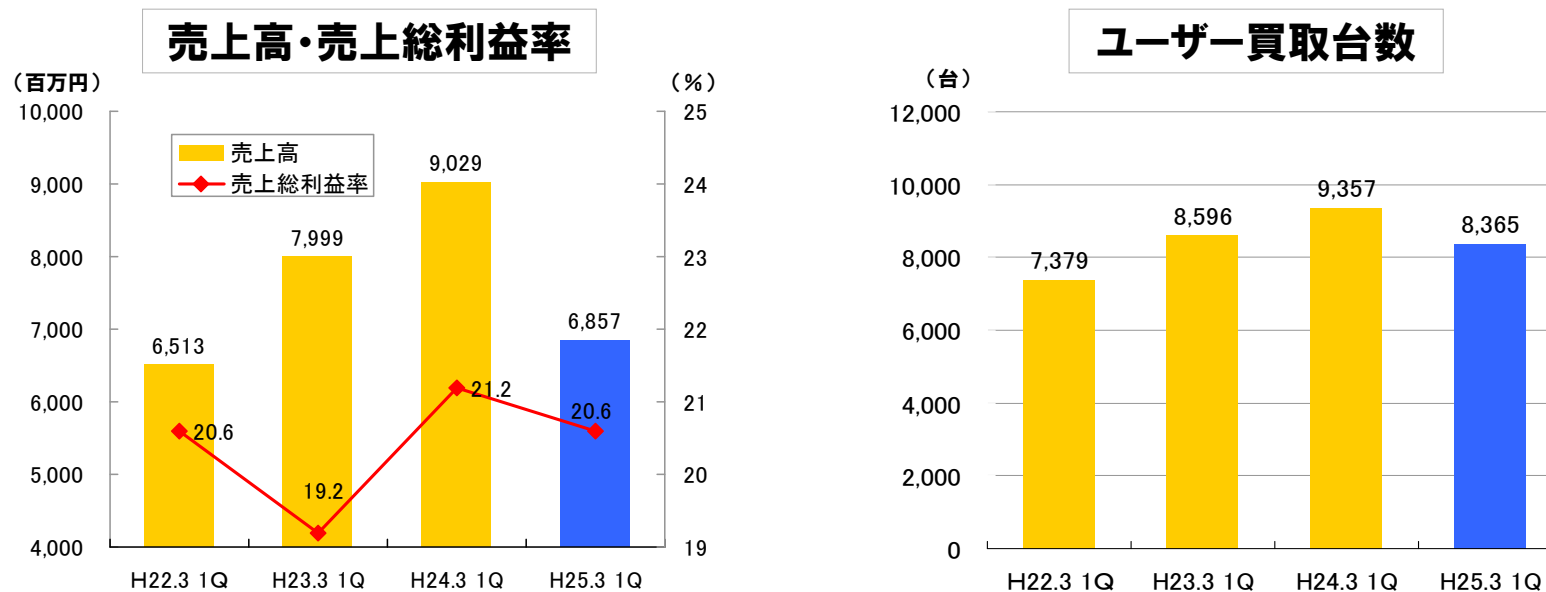
《補足説明》

- ✓ 営業CF : 仕入債務の減少123百万円等のマイナス要因があったものの、たな卸資産515百万円および売上債権118百万円の減少等の一時的なプラス要因により増加
 ※前年同期は、訴訟の勝訴による拘束性預金(500百万円)の解除、売上債権の減少(319百万円)およびたな卸資産の減少(381百万円)により、大幅増加
- ✓ 投資CF : 有形固定資産の取得による支出、敷金及び保証金の差入による支出

【1】平成25年3月期 第1四半期累計期間決算の状況

⑥業績トピックス(売上高およびユーザー買取台数の推移)

■売上高およびユーザー買取台数の推移



- ✓ オートオークションの不安定な相場等の影響により、中古車業界は、依然厳しい状況が続く。ユーザー買取台数は、一括査定媒体からの買取情報に含まれる解体見込車両の割合が急激に増加したため前年同期に比べ10.6%減となり、売上高は、売上単価が低水準に推移したことから前年同期比24.0%減少
- ✓ 売上総利益率は、前年同期と同水準の20.6%

【1】平成25年3月期 第3四半期累計期間決算の状況

⑦1Q実績および2Qについて

■ 当第1四半期実績について

(単位:百万円)

	第1四半期実績	前下半期 (10~3月)
売上高	6,866	16,501
売上総利益	1,414	3,102
売上総利益率	20.6%	18.8%
営業利益	12	288

前下半期と同様、依然厳しい状況が続いているものの、オートオークションの相場は回復傾向にあり、営業施策が奏功し、売上総利益率は、向上

■ 第2四半期について

- ✓ エコカー補助金制度終了後のオートオークション相場回復に期待
- ✓ 8月の「カーチス6周年大感謝祭」の開催により、大幅な収益の回復を目指す

「買取直販」(「良いクルマをより高く買取り、より安く売る」)
に特化し、業績回復を目指す

【2】 営業施策進捗

① 海外進出の検討・在庫共有システムにおける業務提携

■ 韓国進出の検討

- ✓ 前期2Qより当社社員を現地に派遣し、市場調査を開始
- ✓ 平成24年8月、ソウル特別市に駐在員事務所開設 ⇒ 平成24年9月業務開始予定
- ✓ 現地パートナー候補企業との韓国における中古車事業のビジネスモデルを協議中



韓国への本格進出に向け、順調に進捗

■ (株)トヨタユーゼック、(株)シグマネットワークスおよびホームネットカーズ(株)への 在庫掲載における業務提携

- ✓ 前期より開始した中部自動車販売(株)および(株)ジェイ・エー・エーに続き、共有在庫システム
に関して業務提携を開始(平成24年7月)

「カーチス倶楽部」(自動車関連事業者会員組織)の会員様への
サービス向上を継続しつつ、更なる販売チャンネルの拡大を企図

【2】 営業施策進捗

②新規出店計画

■今期10店舗の新規出店を計画

8/5 カーチス川口オープン(今期1店舗目)に続き、

8/18 カーチス富山オープン予定

今期56名の新卒社員および
中途採用社員の即戦力化を実現

積極的な出店を推進し、
出張査定の効率化および
収益力強化を目指す



【カーチス富山 店舗外観イメージ】

【2】 営業施策進捗

③カーチス6周年大感謝祭開催

■「カーチス6周年大感謝祭」開催中(8/4～31)



✓「カーチス6周年」および「お客様満足度6年連続No.1(株式会社ウェブクルーが運営する「車買取.com」)」など
皆様のご愛顧に感謝して、各種特選車を厳選し、特別価格にてご提供

大型展示場4店舗(仙台・千葉・枚方・南港)
を中心に特選車を展示し、販促イベントを開催

